

令和4年度

第1回 北広島市都市計画審議会

議事概要

令和4年9月13日(火)

市役所5階 委員会室

北広島市企画財政部都市計画課

令和4年度 第1回北広島市都市計画審議会

1 日 時 令和4年9月13日(火) 15時00分～16時35分

2 場 所 北広島市役所5階 委員会室

3 出席者 委 員：会長ほか9名
事 務 局：企画財政部長ほか4名
関係部局：企画課参事ほか1名

【委員】

安藤 淳一(会長)	石山 玄幸
京野 英隆	小山 茂(職務代理)
坂本 覚	佐藤 芳之介
鈴木 聡士	橋本 博
福田 菜々	藤澤 宏

【事務局】

企画財政部長	川村 裕樹
都市計画課長	笹原 拓己
都市計画課 主査	大西 康文
都市計画課 主任	市川 嘉人
都市計画課 主任	三浦 裕人

【関係部局】

企画課参事	牛島 裕幸
ボールパーク推進課長	柴 清文

4 傍聴者
なし

5 議事内容

1 開 会

2 会長選出

会長に安藤委員を選出

3 会長挨拶・職務代理者の指名

職務代理者として小山委員を指名

4 議事録署名委員の指名

5 協議事項

会議及び議事録の公開について

会議及び議事録の公開について承認

6 議 事

説明案件第1号「札幌圏都市計画用途地域の変更」について

説明案件第2号「札幌圏都市計画準防火地域の変更」について

説明案件第3号「札幌圏都市計画北広島駅西地区地区計画の決定」について

報告案件第1号から3号（資料1）について事務局から説明

[質問・意見]

A委員

第一種住居地域から近隣商業地域等への変更は考えなかったのか。

事務局

駅周辺地区の未利用地の高度利用を図るため、平成27年に用途地域を第一種住居地域に変更した経緯があり、今回は、駅西口周辺エリア活性化整備計画に基づいた容積率の変更となる。

A委員

複合交流拠点施設の駐車場が60台しかないが、自動車での利用より駅の利用者や居住者を対象とした施設のイメージか。

関係部局

居住者による日常的な利用も含め複合交流拠点施設を計画している。

B委員

人口減少の中で容積率を緩和し、居住面積を大きく増やすことについて、何か見込みなどがあるのか。

事務局

ボールパークの誘致を契機に、駅前に民間事業者の参入があり、未利用の市有地に分譲の共同住宅を整備することで、新たな顔づくりを行うとの計画。

C 委員

ボールパークの新駅整備後の北広島駅の利用について、どのように考えているのか。

事務局

ボールパークの新駅は普通列車のみの停車、快速エアポートは北広島駅に停車することからも、一定程度ボールパークの来訪者の動線を見込んでおり、互いの機能を補完しながら回遊性を持ったまちづくりが展開可能と考える。

A 委員

ホテルの客室数は何部屋か。また、ホテルの種類はビジネスホテルか。

関係部局

ビジネスホテルであり、ファミリー層やボールパークへの来訪者利用も含め 140 から 150 室程度の客室を整備予定。

A 委員

駅前の施設として、医療や教育施設などを入れ、子育て世代を呼び込む事例があるが、この施設にも入るのか。

関係部局

居住交流施設には、生活利便機能としてクリニック等、子育て支援施設として保育園等の誘致を行う。

D 委員

複合交流拠点施設と居住交流施設をつなぐ歩行者専用通路は、屋根がつくのか。

関係部局

屋根なしの形状で計画している。

D 委員

札幌圏では、駅直結かつ屋根付きの通路で全てつながるということで、マンションの資産価値が大きく変わる。地域全体として、市有地 A と B だけでなく、C や D とどのようなつながりを持たせるかは将来的に重要と考える。

事務局

いただいたコンセプトを踏まえ、駅周辺エリアのまちづくりを検討する。

D 委員

一切外に出ず駅まで行けることは、北国では極めて重要な価値を持っている。地域の再開発を誘導する効果も含めてご検討いただければと思う。

B 委員

バリアフリーの動線はどのような計画になっているのか。

関係部局

施設のセキュリティも含め事業者とバリアフリーの動線を協議中。屋外の動線については、ロードヒーティングを設置する計画。いただいた意見も含め事業者と協議する。

A 委員

駐輪場のスペースはどこにあるのか。

関係部局

複合交流拠点施設の歩行者デッキの下に自転車置場を計画している。

E 委員

居住交流施設の広場から歩行者専用通路までの動線は、全て屋外なのか確認したい。

関係部局

全て屋外の動線。

C 委員

北広島団地の北広島幹線緑道から居住交流施設の広場の動線として、広場の階段にスロープが設置されるのか。車椅子の方は、エレベーターで昇るしか方法が無いのか。

関係部局

広場の階段にはスロープの設置を計画していないため、車椅子の方は、外付けのエレベーターを使用する動線を計画している。

C 委員

北広島団地地区の愛称が「さんぼまち」としていることから、技術的な面も含めバリアフリーの動線を検討いただきたい。

F 委員

複合交流拠点施設の建設により、既存の事業者や市民への影響はどのように捉えているのか。

事務局

駅周辺で飲食等を営む事業者等に対して、計画の進捗状況含め情報提供を行っている。駅西口の開発の動向を踏まえ、今後、民間開発が展開されていくと考える。

7 その他

事務局

ボールパークに関する進捗報告後、次回の都市計画審議会の開催予定について説明。

8 閉 会